

# 平成23年度 鹿児島市教育研究大会実践中間報告（坂元中）

平成21・22・23年度 鹿児島市「生徒指導」研究協力校の取り組み

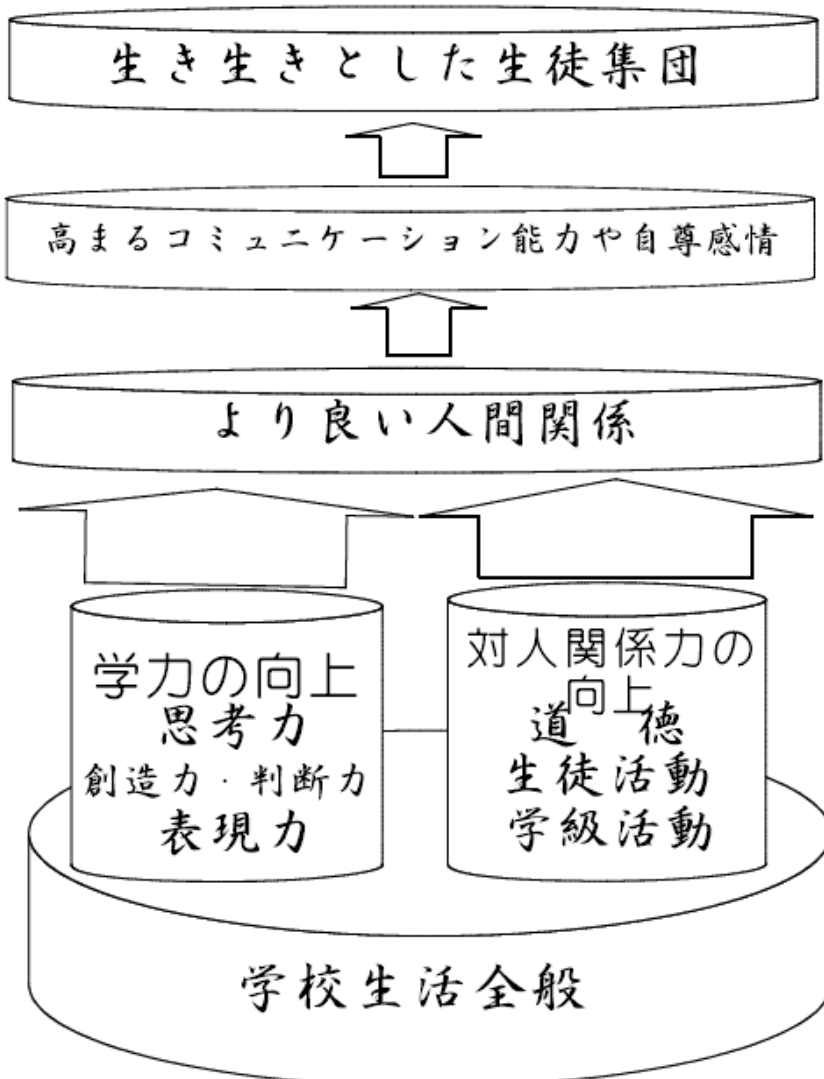
## 1 研究主題

自他の良さを認め合い、生き生きとした生徒集団の育成  
～ 仲間同士の確かな絆づくりを通して ～

## 2 研究仮説

学校生活において生徒間及び生徒と教師間で、より良い人間関係が構築できれば、生徒のコミュニケーション能力や自尊感情が高まり、社会性のある生き生きとした生徒集団を育成することができるのではないかと。

## 3 研究構想図



#### 4 研究の視点

- (1) よりよい人間関係に支えられた諸教育活動を推進することで、生徒の生きる力をはぐくむ。
- (2) 生徒間、教師と生徒間のよりよい人間関係構築のための方法について研究・実践を進めることで教師の指導力向上に資する。
- (3) 「Q-U」に取り組むことにより、よりよい学級集団の形成に努める。

#### 5 研究グループの編成

生きる力をはぐくむ上から、確かな学力を一人一人の生徒に身につけさせることが重要かつ課題であるので、「学力向上研究班」を、また、よりよい人間関係を構築するために「対人関係力向上研究班」を設けた。

学力向上研究班は、機動的に研修を進めるために、教科を3つの研究グループで編成し、研究授業を通して研究を推進していくことにした。

対人関係力向上班は、道徳の時間、学級活動の時間、その他の学校生活の時間の3つに分担し、その時間の充実を進めるように研究グループを編成し、研究を推進していくことにした。

#### 6 研究組織の編成

- ・研究班を2分野、6グループで構成し研究を推し進める。

